

科 目	数学A	学年・類型	1年・普通科、国際文理科	単位数	2						
教 科 書	数学 A (数研出版)										
副 教 材 等	サクシード 数学 I +A (数研出版)										
学習目標	平面図形、集合と論理及び場合の数と確率について、基礎的な知識を身に付け、物事を数学的な考え方で見つめ、処理する力を付ける。また、数学的な見方や考え方のよさを認識し、問題解決に役立てられるようにする。										
学習心得	1 中学校の数学と比べて、授業進度も速く、内容も深まっているので日々の予習・復習は欠かせない。 2 数学Aは高校数学の基本となるので、絶対に理解してほしい科目の一つである。										
	单 元	主 な 学 習 活 動									
一 学 期	場合の数  確率	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図表などを用いて、集合についての基本的な事項を理解し、統合的に見ることの有用性を認識し、論理的な思考力を伸ばすとともに、それらを命題などの考察に生かすことができるようとする。</li> </ul> <p>[主な指導事項]</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">・集合 ・場合の数 ・円順列・重複順列 ・同じものを含む順列</td><td style="width: 50%;">・集合の要素の個数 ・順列 ・組合せ</td></tr> <tr> <td>・具体的な事象の考察などを通して、順列・組合せや確率について理解し、不確定な事象を数量的に捉えることの有用性を認識するとともに、事象を数学的に考察し処理できるようする。</td><td></td></tr> </table> <p>[主な指導事項]</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">・確率の基本性質 ・反復試行の確率 ・期待値</td><td style="width: 50%;">・独立な試行の確率 ・条件付き確率</td></tr> </table>				・集合 ・場合の数 ・円順列・重複順列 ・同じものを含む順列	・集合の要素の個数 ・順列 ・組合せ	・具体的な事象の考察などを通して、順列・組合せや確率について理解し、不確定な事象を数量的に捉えることの有用性を認識するとともに、事象を数学的に考察し処理できるようする。		・確率の基本性質 ・反復試行の確率 ・期待値	・独立な試行の確率 ・条件付き確率
・集合 ・場合の数 ・円順列・重複順列 ・同じものを含む順列	・集合の要素の個数 ・順列 ・組合せ										
・具体的な事象の考察などを通して、順列・組合せや確率について理解し、不確定な事象を数量的に捉えることの有用性を認識するとともに、事象を数学的に考察し処理できるようする。											
・確率の基本性質 ・反復試行の確率 ・期待値	・独立な試行の確率 ・条件付き確率										
二 学 期	平面図形  空間図形	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三角形や円などの基本的な図形の性質についての理解を深め、図形の見方を豊かにするとともに、図形の性質を論理的に考察し処理できるようする。</li> </ul> <p>[主な指導事項]</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">・三角形の辺の比 ・チェバの定理、メネラウスの定理 ・円に内接する四角形 ・方べきの定理</td><td style="width: 50%;">・内心、外心、重心 ・円と直線 ・2つの円の位置関係</td></tr> <tr> <td>・空間における直線や平面の位置関係について理解し、空間認識能力を養う。また、多面体の性質についての理解を深める。</td><td></td></tr> </table> <p>[主な指導事項]</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">・直線と平面</td><td style="width: 50%;">・多面体</td></tr> </table>				・三角形の辺の比 ・チェバの定理、メネラウスの定理 ・円に内接する四角形 ・方べきの定理	・内心、外心、重心 ・円と直線 ・2つの円の位置関係	・空間における直線や平面の位置関係について理解し、空間認識能力を養う。また、多面体の性質についての理解を深める。		・直線と平面	・多面体
・三角形の辺の比 ・チェバの定理、メネラウスの定理 ・円に内接する四角形 ・方べきの定理	・内心、外心、重心 ・円と直線 ・2つの円の位置関係										
・空間における直線や平面の位置関係について理解し、空間認識能力を養う。また、多面体の性質についての理解を深める。											
・直線と平面	・多面体										
三 学 期	数学と人間の活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整数の性質についての理解を深め、その事象の考察に活用できるようする。</li> </ul> <p>[主な指導事項]</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">・約数と倍数 ・整数の割り算 ・1次不定方程式</td><td style="width: 50%;">・最大公約数と最小公倍数 ・ユークリッドの互除法 ・記数法</td></tr> </table>				・約数と倍数 ・整数の割り算 ・1次不定方程式	・最大公約数と最小公倍数 ・ユークリッドの互除法 ・記数法				
・約数と倍数 ・整数の割り算 ・1次不定方程式	・最大公約数と最小公倍数 ・ユークリッドの互除法 ・記数法										

評価の観点及び内容		評価方法
知識・技能	数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考查</li> <li>ワークシート等の記述</li> <li>確認テスト</li> </ul>
思考・判断・表現	数学を活用して事象を論理的に考察し、事象の本質や他の事象との関係を認識し、発展的に考察している。数学的な表現を用いて事象を的確に表現している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考查</li> <li>レポート</li> <li>学習プリント</li> </ul>
主体的に学習に取り組む態度	数学のよさを認識し数学を活用しようしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業態度、参加姿勢</li> <li>授業中の発表</li> <li>授業ノート</li> <li>ルーブリック</li> </ul>